

原発処理水、24日にも海洋放出!!

政府、約束守らず!



速報 処理水24日に海洋放出開始 岸田総理が正式表明

政府は8月22日に関係閣僚会議を開き、24日にも福島第一原発事故で溶け落ちた核燃料を直接冷やした汚染水を処理した水を、世界で初めて海洋放出することを決定しました。

同日におこなわれた西村経産大臣と福島県漁連の面会の場で、県漁連・野崎会長が「我々は放出には反対の立場で今後も臨みたい」と、反対の意思を強調しているにも関わらず、処理水の海洋放出を決定したことは、2015年に政府と東京電力が、県漁連と交わした「関係者の理解なしにいかなる処分もおこなわない」との、約束を反故にするものに他なりません。政府のこのような姿勢は、金子恵美衆議院議員もインタビュー（広報紙「JR総連・第301号(8月15日発行)」で述べていたように、「民主主義の根幹にかかわる大きな問題」であり、日本社会全体の問題です。

今こそ職場と地域から、岸田政権に「NO!」を突き付け、民主主義を守り抜き、脱原発の実現に向けて声を上げ、連帯の輪をひろげていきましょう!